

## 放射線科この一年

放射線科技師長 前川 勝志

## 【はじめに】

1月に佐々木が、3月に小野がめでたく結婚し、それぞれ新生活をスタートさせた。

4月1日に放射線科臨時職員として荒田を採用、また放射線科看護業務担当として、看護師の佐藤を採用した。看護師を放射線科に常駐させることにより、CT造影時の外来看護師の負担軽減・患者さんの入れ替えを含めた検査時間の短縮に寄与している。

9月、小野が検診マンモグラフィ認定技師資格を取得。当科のマンモグラフィ認定技師資格者は5名となった。

## 【業務について】

今年度のスローガンは「説明をきちんとしていこう」と決めた。これを念頭において、言葉の表現・声の大きさ・話すスピードなど相手に配慮した対応ができるよう、自己および相互に留意をして業務を遂行してきた。

平成20年12月時点でCTは連石、MRは千葉、RIは佐々木、AGは田村がそれぞれ担当した。

血管造影件数増加のため、4月から血管造影の検査枠を、月・水・金の午前に1枠増とした。

ICU病棟の開設により、ポータブル撮影が増加した。ICU用に専用のポータブル撮影装置、画像読取装置と処理ユニットを配置して件数増に対応している。

毎朝、科のうち合わせを実施するようにしてから1年以上経過した。また平成4年より始めた月例ミーティングが通算200回を達成(21年1月)。共に周知連絡事項を伝達し、相互に意見を交換できる場として定着している。

## 平成20年撮影人数

CR	32,647	TV	2,911	CT	13,317
MRI	4,820	AG	838	RI	1,147

撮影人数についてはCR、MRIは前年比ほとんど変化していないが、CTが538人(3.9%)減少した。

AGが184人(28%)、RIが167人(17%)の増加となった。しかもAGは過去最高の撮影人数となった。

## 【医用画像の電子保存化】

平成20年診療報酬改定により、「デジタル画像処理加算料」が60→15点に引き下げられ、平成21年度末には廃止となる。また新たに「電子画像管理加算」60点(CT、MR等は120点)が認められた。医用画像の電子保存化(フィルムレス化)を導入しないと当院の場合、画像診断料の大幅な減収となることが予想された。モニターを更新し、手術室・皮膚科・精神科外来・救急室に新たにビューアーを整備し、マンモグラフィなど一部を除きフィルムレス化を達成し、8月より運用を開始した。これによりフィルムコストを削減し、画像診断料の減収を回避することができ、CT、MRI、RIで年間2千万円以上の増収となった。内視鏡の画像においても画像サーバーとDICOM接続され、ビューアーでの画像閲覧が可能となった。診療部側の協力を得て、電子保存化の潮流に乗り遅れることなく移行できたことにお礼申し上げます。

電子保存化により、画像データの複製、または外部から持ち込まれたデータ取り込み等の業務量が想定を越えて多くなった。研究用と患者紹介目的の複製が多い。また外部から持ち込まれるフィルムをデジタイザで読み込む作業も増加している。

結果として一般撮影業務がデータ複製業務に圧迫されている現状がある。外部から持ち込まれたCD等の取り扱いについて診療録検討委員会で作業手順をまとめた。

## 【装置の整備・更新について】

2月に主に消化器科で使用するX線テレビ装置が、故障が多発するようになったこと、経年変化による劣化のため透視画像が見づらいとの要望から装置を更新した。また3月には昭和56年から使用を続けていたポータブル撮影装置が老朽化し使用に耐えなくなったため、新型装置を購入した。

ガンマカメラに関しては平成4年に導入した装置が、補修部品の供給不可が理由でメーカーによる保守契約が平成20年3月末で打ち切られた。今後の故障で高額な修理費が発生すると予想されること、および最新の画像解析技術に対応するためガンマカメラ装置の更新をした。10月に機種を選定し、12月から新型の機器で運用が始まっている。

これにより、検査時間短縮・撮影件数増と循環器内科・脳外科などの画像解析処理の充実が図られた。X線テレビ・ガンマカメラともにサーバーとのDICOM接続規格に準拠しており、サーバーでの画像閲覧が可能となった。

### 【今後の展望】

血管造影検査の午前枠拡大、救急外来・ICU設置に伴う業務量増のため、平成21年4月より技師1名の採用が決まった。機能評価でも指摘されているように、救急体制の見直しなどの検討も含め、人員の充実を図りたい。

4月からDPCに移行が決定している。放射線科でも外来検査が増加し、病棟の検査が減少すると予想される。これを踏まえて昼休み時間のシフト、造影剤などのコストの負担等、業務のあり方を再考したい。将来は放射線情報システムの導入も検討していきたい。